

# 高齢者のインフルエンザ予防接種助成制度

高齢者のインフルエンザの発症と重症化を予防するために、接種費用の一部を助成しています。接種によって体に抗体ができるまでには2週間ほどかかるため、早めに接種することをお勧めします。

※インフルエンザの予防接種は希望者のみが行うもので、義務付けられたり強制されたりするものではありません。

## 助成対象者

- ①65歳以上の方(接種当日、65歳に到達している方)
- ②60歳から64歳の方で、心臓・腎臓・呼吸器の機能障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害があり、日常生活が制限される方(主治医に相談してください)

## 助成期間と回数

平成27年10月1日(木)～12月31日(木)の接種で、1回分のみ助成

## 助成金額

1人につき1,000円

## 手続きのしかた

接種の際に、各医療機関に置いてある予診票に必要事項を記入し、助成金額(1,000円)を差し引いた残額を会計窓口でお支払いください。

また、医療機関において住所・氏名・生年月日を確認させていただくことがありますので、確認できるものを(保険証など)持参してください。

※町外の病院で接種を希望する方は、接種の前に必ず保健福祉課へご連絡ください。

## その他

助成対象者の①または②を満たす生活保護の方は無料で受けられます。  
医療機関で接種希望者数がワクチンの入荷数を超えた場合は、接種できないことがあります。



接種を受けられる場所(委託医療機関)

医療機関	実施日	実施時間	受付方法
多古中央病院 ☎ 76-2211	詳細は13ページ「多古中央病院からのお知らせ」の「高校生以上」の欄をご覧ください。		
大木内科医院 ☎ 76-2904	月～土曜日 ※祝日は除く	午前8時～正午/午後2時～5時 ※木曜日は午前8時～正午のみ	予約不要
箱崎整形外科医院 ☎ 76-2058	月・火・水・金・土曜日 ※祝日は除く	午前9時～11時30分/午後3時～5時30分 ※土曜日は午前9時～11時30分のみ	予約不要
さとうメディカルオフィス ☎ 76-2039	月～土曜日 ※祝日は除く	午前8時30分～午後0時30分/午後3時～5時 ※土曜日は午前8時30分～正午のみ	予約不要
石橋内科医院 ☎ 76-2767	月～土曜日 ※祝日は除く	午前9時～11時30分/午後2時30分～5時30分 ※火曜日は午後4時～6時のみ ※土曜日は午後2時30分～4時30分のみ	予約不要
前田医院 ☎ 76-5977	月・火・水・金・土曜日 ※祝日も実施	午前9時～11時30分/午後3時～5時 ※土曜日は午前9時～正午のみ ※祝日は午前9時～11時30分のみ	電話予約(先着550人まで)



大雨が降ったら

# 土砂災害に注意!

近年では異常気象とも呼べるような大雨によって、全国各地で土砂災害による被害が発生しています。多古町にも、がけ崩れや地すべり等が発生するおそれのある127カ所もの土砂災害危険箇所があり、さらに、生命・身体に危害が及ぶおそれがある土砂災害警戒区域や特別警戒区域は36カ所あります。

災害から命を守るためにはまず、災害のことをよく知ることが大切です。

## 土砂災害とは

大きく分けて「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」と3種類あり、多古町で発生する可能性が一番高いのは「がけ崩れ」です。

がけ崩れ 地中に染み込んだ水分がたまって、雨や地震をきっかけに一気に斜面が崩れ落ちる。いきなり発生するのが特徴で、発生すると避難は極めて難しく人的被害につながりやすい。

## 土砂災害の原因は

地震・雨・雪・急な河川・山地が多いなど、日本の地形や気候などに原因があると言われていますが、その中でも一番の原因は「雨」。世界的に見ても日本は降水量が多い国で、しかも、梅雨の時期にまとまって降るといった特徴が土砂災害を引き起こします。

## ココをチェック!! こんな場所や現象が見られたら要注意

- ◆がけや斜面に亀裂が見える ◆がけの上部がせり出している
- ◆がけの途中から水がふき出している ◆がけの表面を水が流れている
- ◆がけから音がする ◆小石がパラパラ落ちてくる
- ◆わき水が急に増えたり急に止まる。水が急ににごる



## 激しい雨

時間雨量 40mm

山崩れ・がけ崩れが起きやすく、危険地帯では避難の準備が必要  
●非常時持出品、避難場所の確認

## 非常に激しい雨

時間雨量 60mm

土石流が起こりやすく、多くの重大な災害が発生しやすい  
●危険な場所には近づかない ●早めの自主避難  
●避難勧告や避難指示により避難

## 猛烈な雨

基準をはるかに超える豪雨

直ちに命を守る行動をとる  
●厳重な警戒が必要  
●直ちに避難所に避難するか、外出することが危険な場合は家の中で安全な場所に留まる

発令される注意報・警報

大雨注意報

大雨警報

大雨特別警報

## 命を守る最低限の行動

土砂災害から身を守るためには、明るいうちに早めに避難することが重要です。気象情報など最新の情報に注意して、災害に備えた早めの準備等をしましょう。

外に避難することが危険な場合や、避難する時間がない場合は、住宅の2階やがけから遠い安全な部屋に移動すること(垂直避難と水平避難)も有効であると言われています。



●Lアラートを活用ください

多古町が発表した避難情報を、テレビやインターネットなどでいつでも最新の状況が確認できます。例) NHK 総合 → リモコン「dボタン」→ 地域の防災・災害情報

お問合せ ● 保健福祉課健康づくり係 ☎ 76-3185

お問合せ ● 総務課交通防災係 ☎ 76-2611